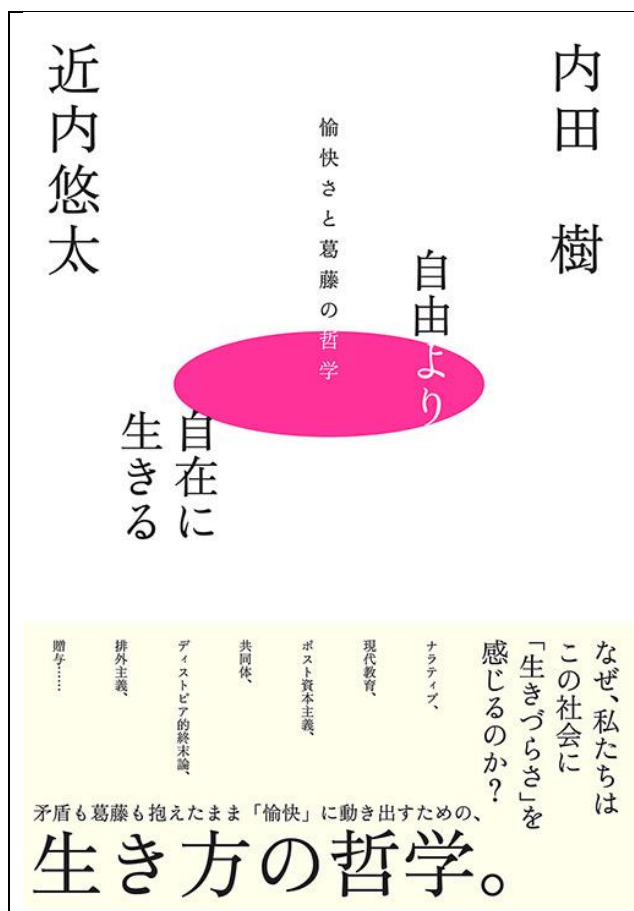


# 自由より自在に生きる

愉快さと葛藤の哲学

内田 樹／近内悠太



## 《目次》

- ◆INTRODUCTION
- ◆PART1 愉快に生きるとは？
- ◆PART2 自由よりも「自在」に動く
- ◆PART3 愉快的な身体の共振
- ◆PART4 私たちの社会に必要な「贈与」
- ◆CONCLUSION

本体価格-----1800 円  
 ISBN-----978-4-86680-363-0  
 ページ数-----320 ページ  
 判型-----四六判

ベストセラー「街場の〇〇論」の内田樹と、ベストセラー『世界は贈与でできている』の近内悠太という日本における新旧2人の知性が説く、これからの生き方の哲学。

- ★「なぜ、私たちはこの社会に“生きづらさ”を感じるのか」という命題に対して、「自由」よりも「自在」という発想を持って生きようというメッセージを提唱。
- ★いまの社会に広がる息苦しさや生きづらさの正体を、身体、教育、共同体、政治、贈与といったテーマから読み解いていく一冊。
- ★自分の正しさや勝ち負けに固執せず、その場の理に応じて、しなやかに動ける状態とは何か。武道の身体感覚と哲学の思考を往復しながら、現代人が失いがちな感度や判断力を、やわらかく、しかし鋭く掘り下げる。

## 《本書のセールスポイント》

- ◎内田樹という日本を代表する思想家と、近内悠太という若手で注目の哲学研究者による初の共著作。
- ◎日本のみならず、グローバル化と分断が進む全世界の社会における「生きづらさ」の正体と、市民がそれを乗り越えて生きるためのヒントを解説。
- ◎日本国内では、哲学、思想書を好む読者に高い評価を受け、発売後から順当に売れている(ロングセラー)になっている作品。

## 《著者》

内田 樹(Tatsuru Uchida)

1950 年東京都生まれ。思想家、武道家、神戸女学院大学名誉教授、凱風館館長。東京大学文学部仏文科卒業、東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程中退。専門は 20 世紀フランス哲学・文学、武道論、教育論。主著に『ためらいの倫理学』『レヴィナスと愛の現象学』『寝ながら学べる構造主義』『先生はえらい』など。第 6 回小林秀雄賞、2010 年度新書大賞、第三回伊丹十三賞を受賞。近著に『沈む日本とカオス化する世界』など。

近内悠太(Yuta Chikauchi)

1985 年神奈川県生まれ。教育者、哲学研究者。慶應義塾大学理工学部数理科学科卒業、日本大学大学院文学研究科修士課程修了。専門はウイットゲンシュタイン哲学。リベラルアーツを主軸にした統合型学習塾「知窓学舎」講師。『世界は贈与でできている』で第 29 回山本七平賞・奨励賞を受賞。近著に『利他・ケア・傷の倫理学』。

初版 6,000 部 (2026 年 3 月刊)